

IRB番号「2022-GB-116」

研究課題名「蛍光多重免疫組織化学染色を用いた非小細胞肺癌の腫瘍微小免疫環境の解析 (HOT/NJLCG2001-A1)」

1. 研究の対象

2018年12月1日～2020年1月31日までに北海道肺癌臨床研究会 (HOT)、北日本肺癌臨床研究会 (NJLCG) ならびに信州大学関連施設にて、PD-L1高発現 (TPS 50%以上) が確認された未治療進行非小細胞肺癌症例に対しペムブロリズマブ単剤もしくはプラチナ製剤併用療法+ペムブロリズマブを投与された患者。

2. 研究の目的・方法

初回治療としてペムブロリズマブ単剤もしくはプラチナ製剤併用療法+ペムブロリズマブを施行されたPD-L1高発現 (Tumor Proportion Score (TPS): 50%以上) の未治療進行非小細胞肺癌症例 (NSCLC) を対象に、蛍光多重免疫組織化学染色解析システムを用いて、NSCLCの腫瘍微小環境の把握と治療効果との関連を評価する。

3. 研究期間

承認日 ～ 2024年03月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理結果等）、治療の状況、転帰
解析する試料：診断生検時または外科手術切除時に摘出した腫瘍組織の残存検体

5. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は各施設で管理します。

6. 研究組織

医療機関名	科名	施設責任者
がん研究会有明病院	先端医療科	北野 滋久
検体提供 函館五稜郭病院	呼吸器内科	角 俊行
検体提供 帯広厚生病院	第一内科	高村 圭
検体提供 市立釧路総合病院	呼吸器内科	北村 康夫
検体提供 北海道がんセンター	呼吸器内科	大泉 聡史
検体提供 王子総合病院	呼吸器内科	河井 康孝
検体提供 北海道大学病院	呼吸器内科	榑原 純
検体提供 旭川医療センター	呼吸器内科	藤田 結花
検体提供 市立札幌病院	呼吸器内科	本村 文宏
検体提供 手稲溪仁会病院	呼吸器内科	横尾 慶紀
検体提供 北海道医療センター	呼吸器内科	須甲 憲明
検体提供 KKR札幌医療センター	呼吸器科・腫瘍内科	小島 哲弥
検体提供 名寄市立総合病院	呼吸器内科	渡邊 皐嗣
検体提供 岩見沢市立総合病院	内科	上村 明
検体提供 秋田厚生医療センター	呼吸器内科	守田 亮
検体提供 仙台厚生病院	呼吸器内科	菅原 俊一
検体提供 宮城県立がんセンター	呼吸器内科	福原 達朗
検体提供 東北大学病院	呼吸器内科	宮内 栄作

検体提供 弘前大学医学部附属病院 呼吸器内科 田中 寿志
検体提供 信州大学医学部 内科学第一教室 立石 一成
検体提供 諏訪赤十字病院 呼吸器内科 蜂谷 勤
検体提供 信州上田医療センター 呼吸器内科 吾妻 俊彦
検体提供 長野赤十字病院 呼吸器内科 小澤 亮太
検体提供 伊那中央病院 呼吸器内科 加藤あかね
検体提供 長野県立信州医療センター 呼吸器内科 山崎 善隆
検体提供 長野松代総合病院 呼吸器内科 宮原 隆成
検体提供 岡谷市民病院 呼吸器内科 小林 信光

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び
関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承
いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さ
んに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：北野 滋久
がん研究会有明病院 先端医療開発科
〒135-8550 東京都江東区有明3丁目8番31号
TEL：03-3520-0111
FAX：03-3570-0622
E-mail：shigehisa.kitano@jfcr.or.jp

研究代表者：

研究代表者：北野 滋久
がん研究会有明病院 先端医療開発科
〒135-8550 東京都江東区有明3丁目8番31号
TEL：03-3520-0111
FAX：03-3570-0622
E-mail：shigehisa.kitano@jfcr.or.jp